

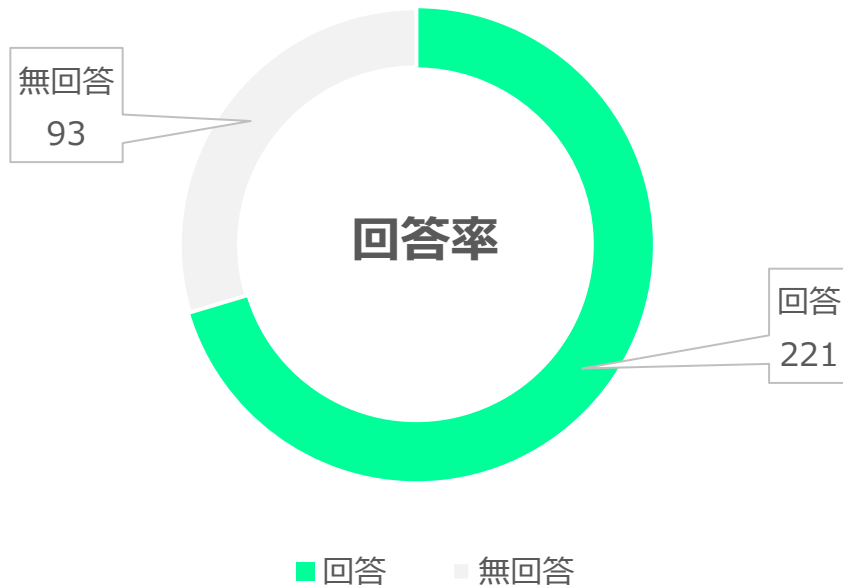
古田校区
地域ワークショップアンケート

古田校区 地域ワークショップアンケート 00_全体集計_校区の困りごと

回答数	221	男性	99	女性	122	無回答	0
-----	-----	----	----	----	-----	-----	---

10代	4	20代	13	30代	17	40代	25	50代	45	60代	49	70代	25	80代	37	90代	6	無回答	0
-----	---	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	---	-----	---

対象者 314名

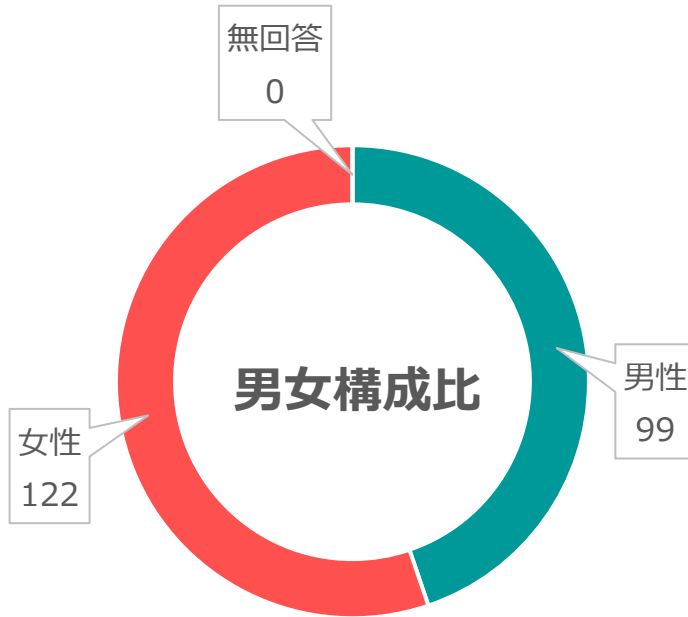


70.3%

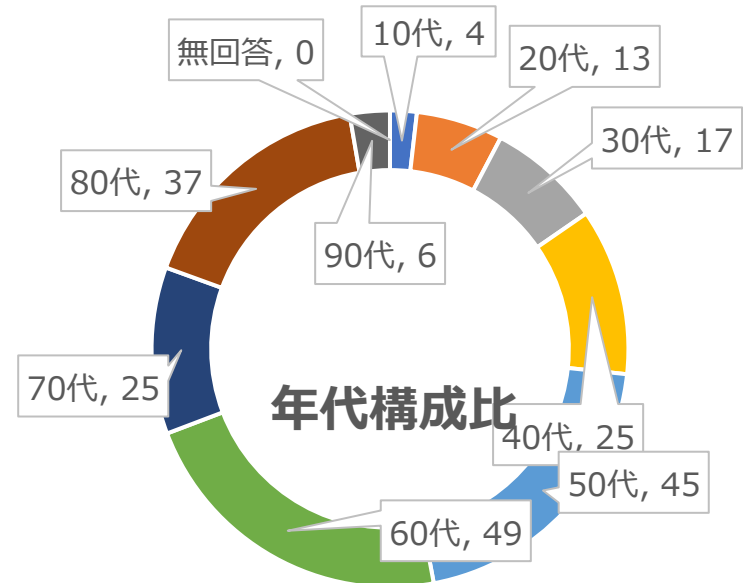
古田校区 地域ワークショップアンケート 00_全体集計_校区の困りごと

回答数	221	男性	99	女性	122	無回答	0
-----	-----	----	----	----	-----	-----	---

10代	4	20代	13	30代	17	40代	25	50代	45	60代	49	70代	25	80代	37	90代	6	無回答	0
-----	---	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----	-----	---	-----	---



■ 男性 ■ 女性 ■ 無回答



■ 10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代
 ■ 60代 ■ 70代 ■ 80代 ■ 90代 ■ 無回答



古田校区

地域ワークショップアンケート

質問1

古田校区 地域ワークショップアンケート 00_全体集計_校区の困りごと (点数順)

質問1_校区の困りごと 点数順

		優先1	優先2	優先3	全体数	点数
1	若い人がいなくて地域の行事や清掃ができない。地域活動を支える後継者がいない	39	41	33	113	219
2	子どもの数が減って、今後小学校の存続が心配。子育てがしにくい環境である	49	28	26	103	218
3	校区や集落の役員のなり手がいない（負担が大きい）	33	15	15	63	130.3
4	部落費や校区費が高い	17	18	18	53	93.4
5	道路が舗装されていない	14	11	13	38	69.6
6	危険箇所が多い（防犯灯・カーブミラー等の設置が不十分）	11	12	17	40	66.6
7	高齢者や障害者など支援の必要な方を支援できる人がいない（支援者の負担が大きい）	13	10	21	44	65.8
8	行事やイベントが多すぎる	14	11	8	33	62.3
9	行きたいところに行ける利用しやすい交通手段がない	10	11	18	39	58.8
10	独居・単身者が多く、見守り体制が不安、不十分である	12	11	12	35	56
11	自宅の修理や空き家の管理ができていない	14	7	15	36	53.9
12	働く場がなく（少なく）、賃金も少ない	8	11	13	32	47.4
13	地域公共交通等交通機関の利用時間が合わない	3	10	11	24	32.6
14	住民同士の交流が少なく、住民同士の繋がりが希薄である	4	9	12	25	31.3
15	スーパーや商店がない（少ない）	4	11	10	25	30
16	頼れる家族や親戚が近くにいない人が多い	6	5	13	24	27.5
17	災害時に避難する場所がなく、防災等に対する取り組みが少ない	1	2	12	15	12.5
18	その他	1	2	2	5	9

古田校区 地域ワークショップアンケート 00_全体集計_校区の困りごと（点数順）

質問1_校区の困りごと 点数順

Point

性別関係なく、上位3つの項目は変わりなかった。

全体

		優先1	優先2	優先3	全体数	点数
1	若い人がいなくて地域の行事や清掃ができない。地域活動を支える後継者がいない	39	41	33	113	219
2	子どもの数が減って、今後小学校の存続が心配。子育てがしにくい環境である	49	28	26	103	218
3	校区や集落の役員のなり手がいない（負担が大きい）	33	15	15	63	130.3

男性

		優先1	優先2	優先3	全体数	点数
1	若い人がいなくて地域の行事や清掃ができない。地域活動を支える後継者がいない	21	20	14	55	108
2	子どもの数が減って、今後小学校の存続が心配。子育てがしにくい環境である	25	13	11	49	105
3	校区や集落の役員のなり手がいない（負担が大きい）	17	9	5	31	64.43

女性

		優先1	優先2	優先3	全体数	点数
1	子どもの数が減って、今後小学校の存続が心配。子育てがしにくい環境である	24	15	15	54	113
2	若い人がいなくて地域の行事や清掃ができない。地域活動を支える後継者がいない	18	21	19	58	111
3	校区や集落の役員のなり手がいない（負担が大きい）	16	6	10	32	65.83

質問1_校区の困りごと 点数順

10代～50代

男性

		点数
1	子どもの数が減って、今後小学校の存続が心配。子育てがしにくい環境である	53.1
2	若い人がいなくて地域の行事や清掃ができない。地域活動を支える後継者がいない	50.2
3	校区や集落の役員のなり手がいない（負担が大きい）	37.21

女性

		点数
1	若い人がいなくて地域の行事や清掃ができない。地域活動を支える後継者がいない	52.5
2	子どもの数が減って、今後小学校の存続が心配。子育てがしにくい環境である	48.5
3	校区や集落の役員のなり手がいない（負担が大きい）	35.5

Point

10代～50代は今後の小学校の存続を心配する回答が多かった。
また、地域活動や担い手など回答に男女の差はあまりなかった。

質問1_校区の困りごと 点数順

60代

男性

		点数
1	若い人がいなくて地域の行事や清掃ができない。地域活動を支える後継者がいない	34.3
2	校区や集落の役員のなり手がいない（負担が大きい）	22.27
3	子どもの数が減って、今後小学校の存続が心配。子育てがしにくい環境である	17

女性

		点数
1	子どもの数が減って、今後小学校の存続が心配。子育てがしにくい環境である	39
2	若い人がいなくて地域の行事や清掃ができない。地域活動を支える後継者がいない	26.5
3	校区や集落の役員のなり手がいない（負担が大きい）	18.5

Point

子どもから現役世代（10代～50代）が少ないことを危惧する回答が多いように感じる。

質問1_校区の困りごと 点数順

70代~90代

男性

		点数
1	子どもの数が減って、今後小学校の存続が心配。子育てがしにくい環境である	35.3
2	若い人がいなくて地域の行事や清掃ができない。地域活動を支える後継者がいない	23.6
3	道路が舗装されていない	12.5

女性

		点数
1	若い人がいなくて地域の行事や清掃ができない。地域活動を支える後継者がいない	31.8
2	子どもの数が減って、今後小学校の存続が心配。子育てがしにくい環境である	25.5
3	行きたいところに行ける利用しやすい交通手段がない	23.8

Point

70代~90代は、次世代の担い手がないことを心配している回答が多いように思える。
また、交通手段などを不安に思うことも考えられる。



古田校区

地域ワークショップアンケート

質問2

古田校区 地域ワークショップアンケート 00_全体集計_こうありたい未来 (点数順)

質問2_地域のこうありたい未来 点数順

		点数
1	このまま穏やかな自然や文化のなかで暮らしたい	138
2	行事は最小限にし、区長や集落長など役員の負担を減らすことにより自治会が維持できる	90
3	ゴミ出しや草刈などの支援や見守り、安否確認ができる支援が増え、高齢者が住みやすい	81
4	校区内で高齢者施設や拠点施設をつくり、見守り体制の構築や生きがいづくりの場がある	78
5	高齢者がいつでも移動できる交通機関の手段を確保し、行きたいところに移動できる	57
6	農業等を核とした一次産業の発展により人口が増えている	51
7	移住者を受け入れて人口が増えている	48
8	空き家が管理できる仕組みを構築し、人口が増える	45
9	集落費や校区費を下げて現在、住んでいる地域に住み続けている	45
10	単身者が結婚できるようサポートし、人口が増えている	36
11	小学校の留学生を増やし、複式学級がなくなる	27
12	既存企業への支援や企業誘致により働く場の確保ができています	21
13	災害時に避難できる頑丈な避難場所が確保され、災害に強い地域づくりができています	21
14	安心して子育てできるような子育て支援が充実している	21
15	健康寿命を伸ばし、自立した高齢者が増えている	21
16	観光客が増えるように観光地化し、交流人口が増える	18
17	住民同士の交流を深めることにより、地域行事を存続できている	18
18	その他	12
19	大型ショッピングセンターやコンビニを誘致し、交流人口が増える	6

古田校区 地域ワークショップアンケート 00_全体集計_こうありたい未来 (男女別)

質問2_地域のこうありたい未来 男女別

全体

		点数
1	このまま穏やかな自然や文化のなかで暮らしたい	138
2	行事は最小限にし、区長や集落長など役員の負担を減らすことにより自治会が維持できる	90
3	ゴミ出しや草刈などの支援や見守り、安否確認ができる支援が増え、高齢者が住みやすい	81

男性

		点数
1	このまま穏やかな自然や文化のなかで暮らしたい	51
2	行事は最小限にし、区長や集落長など役員の負担を減らすことにより自治会が維持できる	48
3	農業等を核とした一次産業の発展により人口が増えている	39

女性

		点数
1	このまま穏やかな自然や文化のなかで暮らしたい	87
2	ゴミ出しや草刈などの支援や見守り、安否確認ができる支援が増え、高齢者が住みやすい	51
3	校区内で高齢者施設や拠点施設をつくり、見守り体制の構築や生きがいづくりの場がある	45

質問2_地域のこうありたい未来

10代～50代

男性

		点数
1	行事は最小限にし、区長や集落長など役員の負担を減らすことにより自治会が維持できる	30
2	移住者を受け入れて人口が増えている	18
2	このまま穏やかな自然や文化のなかで暮らしたい	18

女性

		点数
1	行事は最小限にし、区長や集落長など役員の負担を減らすことにより自治会が維持できる	27
1	このまま穏やかな自然や文化のなかで暮らしたい	27

Point 10代から50代は、現状よりも負担が減ることで維持することを考えている。

質問2_地域のこうありたい未来

60代

男性

		点数
1	農業等を核とした一次産業の発展により人口が増えている	15
2	移住者を受け入れて人口が増えている	12

女性

		点数
1	このまま穏やかな自然や文化のなかで暮らしたい	27
2	ゴミ出しや草刈などの支援や見守り、安否確認ができる支援が増え、高齢者が住みやすい	12
2	校区内で高齢者施設や拠点施設をつくり、見守り体制の構築や生きがいづくりの場がある	12

Point

60代の男性は、発展志向。
60代女性は、高齢者が住みやすい未来を望んでいる。

質問2_地域のこうありたい未来

70代～90代

男性

		点数
1	このまま穏やかな自然や文化のなかで暮らしたい	24
2	校区内で高齢者施設や拠点施設をつくり、見守り体制の構築や生きがいつくりの場がある	21

女性

		点数
1	このまま穏やかな自然や文化のなかで暮らしたい	37
1	ゴミ出しや草刈などの支援や見守り、安否確認ができる支援が増え、高齢者が住みやすい	27
3	校区内で高齢者施設や拠点施設をつくり、見守り体制の構築や生きがいつくりの場がある	21
3	高齢者がいつでも移動できる交通機関の手段を確保し、行きたいところに移動できる	21

Point

70代～90代は、高齢者が住みやすい未来、移動手段に困らない未来を望んでいる。



古田校区

地域ワークショップアンケート

参考

古田校区 地域ワークショップアンケート 00_全体集計_校区の困りごと

質問1_校区の困りごと 回答

		優先1	優先2	優先3	全体数	点数
1	校区や集落の役員のなり手がいない（負担が大きい）	33	15	15	63	130.3
2	子どもの数が減って、今後小学校の存続が心配。子育てがしにくい環境である	49	28	26	103	218
3	独居・単身者が多く、見守り体制が不安、不十分である	12	11	12	35	56
4	住民同士の交流が少なく、住民同士の繋がりが希薄である	4	9	12	25	31.3
5	若い人がいなくて地域の行事や清掃ができない。地域活動を支える後継者がいない	39	41	33	113	219
6	危険箇所が多い（防犯灯・カーブミラー等の設置が不十分）	11	12	17	40	66.6
7	自宅の修理や空き家の管理ができていない	14	7	15	36	53.9
8	スーパーや商店がない（少ない）	4	11	10	25	30
9	行事やイベントが多すぎる	14	11	8	33	62.3
10	部落費や校区費が高い	17	18	18	53	93.4
11	働く場がなく（少なく）、賃金も少ない	8	11	13	32	47.4
12	地域公共交通等交通機関の利用時間が合わない	3	10	11	24	32.6
13	行きたいところに行ける利用しやすい交通手段がない	10	11	18	39	58.8
14	頼れる家族や親戚が近くにいる人が少ない	6	5	13	24	27.5
15	高齢者や障害者など支援の必要な方を支援できる人がいない（支援者の負担が大きい）	13	10	21	44	65.8
16	災害時に避難する場所がなく、防災等に対する取り組みが少ない	1	2	12	15	12.5
17	道路が舗装されていない	14	11	13	38	69.6
18	その他	1	2	2	5	9

質問2_地域のこうありたい未来 回答

		点数
1	移住者を受け入れて人口が増えている	48
2	単身者が結婚できるようサポートし、人口が増えている	36
3	小学校の留学生を増やし、複式学級がなくなる	27
4	農業等を核とした一次産業の発展により人口が増えている	51
5	大型ショッピングセンターやコンビニを誘致し、交流人口が増える	6
6	校区内で高齢者施設や拠点施設をつくり、見守り体制の構築や生きがいづくりの場がある	78
7	既存企業への支援や企業誘致により働く場の確保ができています	21
8	空き家が管理できる仕組みを構築し、人口が増える	45
9	高齢者がいつでも移動できる交通機関の手段を確保し、行きたいところに移動できる	57
10	観光客が増えるように観光地化し、交流人口が増える	18
11	災害時に避難できる頑丈な避難場所が確保され、災害に強い地域づくりができています	21
12	ゴミ出しや草刈などの支援や見守り、安否確認ができる支援が増え、高齢者が住みやすい	81
13	住民同士の交流を深めることにより、地域行事を存続できている	18
14	安心して子育てできるような子育て支援が充実している	21
15	健康寿命を伸ばし、自立した高齢者が増えている	21
16	このまま穏やかな自然や文化のなかで暮らしたい	138
17	集落費や校区費を下げ、住んでいる地域に住み続けている	45
18	行事は最小限にし、区長や集落長など役員の負担を減らすことにより自治会が維持できる	90
19	その他	12